



平成28年 9月20日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所

お知らせ

浚渫兼油回収船「清龍丸」千葉県館山港で一般公開

～9月28日(水)館山夕日^{ゆうひ}棧橋にて～

1. 概要

浚渫兼油回収船「清龍丸」(国土交通省中部地方整備局名古屋港湾事務所所属)は千葉県館山港夕日棧橋で平成28年9月28日(水)に一般公開、29日(木)には地元学生の船内見学会を行うため、名古屋港を9月26日(月)に出港します。

館山港は観光の地域振興に重要な役割を果たすことが期待される港湾として、特定地域振興重要港湾に指定されており、観光レクリエーション振興のための重要な拠点として整備された多目的棧橋を活用して同船の一般公開を行います。

なお、同船は一般公開終了後、横浜港で定期修理を行い12月16日(金)に名古屋港へ帰港する予定です。

2. 日時・場所等詳細

日時：一般公開……平成28年9月28日(水) 10時00分～15時00分

※事前申し込み不要、入場料無料

船内見学会…平成28年9月29日(木) 10時00分～15時00分

※国立館山海上技術学校が船内見学を予定

場所：館山港 館山夕日棧橋(館山港多目的観光棧橋) -7.5m岸壁

【浚渫兼油回収船「清龍丸」】

国土交通省では、全国に3隻の浚渫兼油回収船を保有しています。

その1隻である「清龍丸」は平時、名古屋港において航路や泊地の浚渫作業を行っていますが、大規模流出油事故発生時には、速やかに現場海域に出動し、油回収作業を行えるよう、常に万全の体制を整えています。

また、東日本大震災発生時には、地震発生直後に緊急支援物資運搬のために出動し、岩手県の釜石港・大船渡港へ入港しました。熊本地震の際には大分港に緊急物資の運搬、三角港では被災者の方への入浴支援を行いました。

3. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、名古屋港記者クラブ、専門紙記者会、港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス、千葉県政記者クラブ

4. 問合せ先

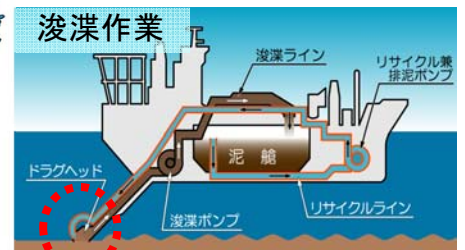
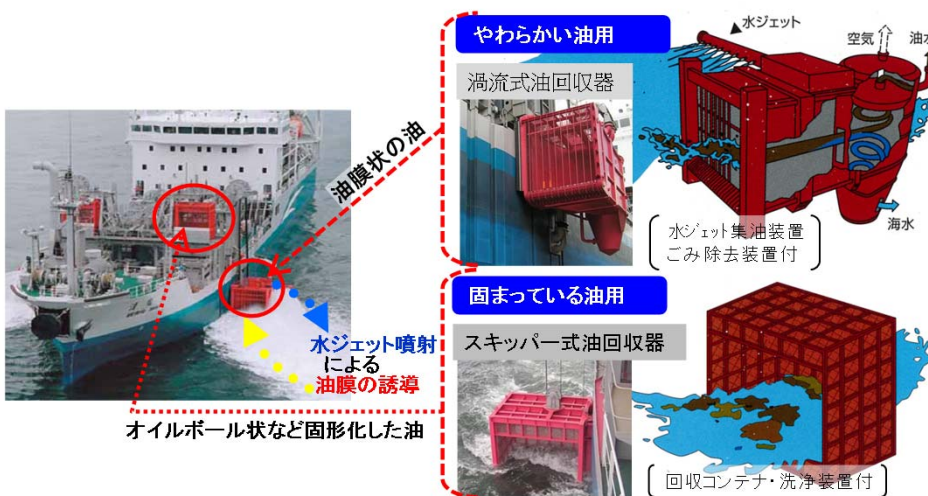
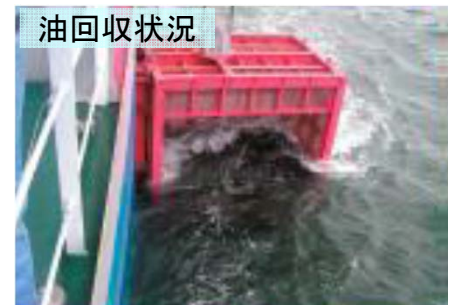
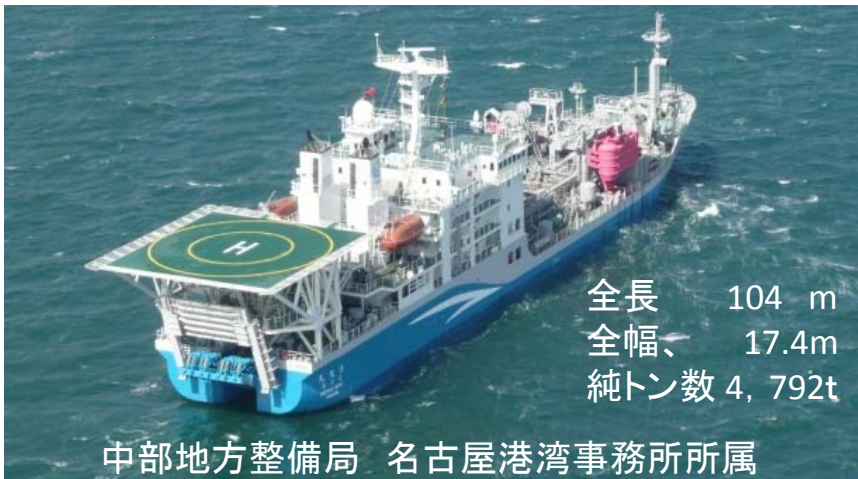
国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 海洋環境・防災課 中野(なかの)

Tel 052-651-6791 Fax 052-651-3801

浚渫兼油回収船「清龍丸」の概要

「清龍丸」の行う業務

- 通常は、航路、泊地等の浚渫作業。
 - ・高精度で平坦浚渫を可能とする幅広い新型ドラグヘッドを装備。
- 大量油流出時には、速やかに流出現場に向かい、油回収作業。
 - ・油の状況に応じた2種類の回収器を装備。
- 災害時には、災害支援作業(災害情報収集、救援物資輸送、給水、電力供給等)。
 - ・情報収集・発信のための通信システムや防災要員・物資運搬等のためのヘリデッキを装備。



油回収タンクに約1時間で1,000kl (ドラム缶約5千本分)の油水を回収可能。